



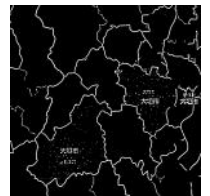
2024年 冬号
発行元
大垣市立図書館

1・2・3月の
講座情報

ふるさと古文書講座
1月 8日(月・祝) 午前
2月12日(月・祝) 午前
3月20日(水・祝) 午前

学ぶ大垣講座
1月 8日(月・祝) 午後
2月12日(月・祝) 午後

大垣四季占い



今年の冬は暖冬になる予想。伊吹おろしに負けず寺社仏閣を巡って、運気を整えよう!

「雪・月・花展」はじまる

3階展示コーナーにて開催中



均齋筆「花霞」



『白氏文集』

「雪月花」は、右の資料の白居易の詩「寄殷協律」の一句「雪月花時最憶君(雪月花の時最も君を憶ふ)」がもとになっているよ。



季節の流れによって変化する自然の美しさを表す「雪月花」。平安時代に和歌の題材として使われ、現在も四季の趣を表す言葉として様々なところで見かけることができます。「雪月花」は、春の花(桜)、秋の月、冬の雪を自然の美しさの代表として作られた言葉として知られていますが、そのはじめは、唐代の詩人、白居易が友人を想って詠んだ詩とされています。今回の展示では、この「雪月花」の言葉にちなみ、桜、月、雪が描かれた掛軸や色紙などの資料を紹介します。

【開催場所】

大垣市立図書館3階
郷土資料室展示コーナー

【期間】

令和6年1月5日(金)

～3月28日(木)

午前9時～午後5時まで

休館日 毎週火曜日

1月10日(水)・26日(金)

2月14日(水)・26日(月)

3月4日(月)・6日(水)・8日(金)・21日(木)・29日(金)

ポケット学芸員



※ポケット学芸員をご利用いただけます。詳細は右記QRコードを確認ください。

2階北側通路 大垣の風景(ワンシーン)「古写真に見る大垣城」展



大垣の風景(ワンシーン)ノートを置いてあります。大垣城をはじめ、郷土大垣に関する思いを書いてみてください。

大垣城は、戦国時代に築城され、慶長5年(1600)関ヶ原合戦の際には、西軍石田三成の本拠となりました。江戸時代、寛永12年(1635)以降、戸田氏が大垣藩主となり、明治に至るまで続きました。明治以降は、天守と一部の建造物を残し、大垣公園とともに人々のいこいの場となりました。昭和11年(1936)、国宝に指定されましたが、昭和20年、戦災により焼失しました。今回の展示では、ふるさとの城として親しまれる大垣城の明治から戦前までの姿を、古写真をもとに紹介しています。

推しの武将ランキングを発表しています。

☆3位☆
おたによしづく
大谷吉継
7票

☆2位☆
とくがわいえやす
徳川家康
20票

☆1位☆
おだのぶなが
織田信長
23票

また、昨年9月1日(金)から10月26日(木)まで開催した「関ヶ原合戦と関連史跡IN大垣」展にて、皆様にご投稿いただいた「推しの武将」のランキングを発表しています。

大垣よもやまコラム

ものがたり大垣城

(6)関ヶ原合戦前の大垣城周辺

坂東 肇

関ヶ原合戦は当初から関ヶ原で戦いが行われることが計画されていたように思われがちですが、そうではありません。当初三成は、尾張あたりで東軍にあたろうと思ってい

たようですが、清須城の福島正則が東軍につくことがわかり、合戦予想地点が次第に西へ移っていくのです。そして岐阜城が早々と落城したこと

当時の長松城は、堀は埋まったように平らになっていたので、破壊されていたのかもしれない。ただ、ここを東軍に押えられたことにより、三成は西への重要なルートを塞がれました。

大垣城の北には楽田城があり、ここには西軍の島津義弘が入りました。ここはかつて氏家ト全が居城としていました。氏家がが大垣城に移った以後についてはよくわかっていませんが、関ヶ原合戦前に島津はここに陣をしいて曾根城を攻撃しました。本丸と

二の丸が中心で、南は竹島町あたり、東は本町通りあたりまでが大まかな範囲だったと思われれます。入口は東大手と南大手の二ヶ所が史料には出てきます。城へは8月10日に三成が入りますが、島津は楽田城、宇喜多、小西などは、後の竹島本陣付近から林町あたりにかけての場所に陣をします。江戸時代の大垣城のみならず、七口門で囲む城域の東側、つまり町屋があつた場所を中心に陣をしいたのでしよう。

一方、東軍は岡山に陣をします。徳川先鋒隊として、



曾根城跡 (曾根町)

大垣を深めよ!

Gaki Quiz

私はだれでしょう。



ヒント①

私は、文化14年(1817)に大垣で誕生しました。

ヒント②

戊辰戦争の際には、藩のため、朝廷との調整役を務めました。

ヒント③

私の藩での役職は、家老ではありません。

第6号(秋号)の解答

「おあむ」



石田三成の家臣、山田去暦の娘。関ヶ原合戦の頃、父とともに

おすすめの1冊

杉原恭三 戦争「少国民」の記憶から...

「二人の叔父と私」

■大垣の「小さな叔母さん」など六話



3階郷土資料室、2階一般閲覧室(ふるさと大垣コーナー・貸出可)にてご覧いただけます。

市内在住の著者杉原さん(88歳)の戦争体験などが、第1話から第6話まで語られています。杉原さんは、戦争を知らない世代に歴史の事実として戦争体験を知っていた

レファレンス

事例簿

【問い合わせ】大垣藩の関係資料で、忍者に関する記述はないか。

【回答】『大垣市史』などを調べましたが、ありません。大垣市教育委員会発行の大垣市史資料集『藤渠漫筆』の各巻の索引から調べたところ、『藤渠漫筆』九 第三十三編(第三十六編「大垣藩医師 黒田元恭」の頭注で「栗屋町八日下伊賀衆トテ忍ノ術ヲ

行フ人住セルユヘ名ク、イガヨリ栗ト転ゼリト云」とあり、栗屋町に忍者が住んでいたという説があつたことがわかりました。このほか、諜報活動を行ったといわれる「お庭番」というキーワードで調べたところ、大垣市文化財保護協会発行『美濃大垣十萬石太平記』(下巻)「お庭番「啓助」と手紙魔「鉄心」」の記述や『美濃民俗』No.343の記事、北村しゅうほ著「幕末・大垣藩お庭番の実録「坤儀革正録」について」より、幕末の大垣藩城代小原鉄心をたす

本多忠勝と井伊直政が入り、その後には、岐阜城を落とした福島正則や池田輝政等、豊臣恩顧の大名が次々と入ってきます。そして、9月14日岡山に徳川家康が着陣することになります。この時点では三成も家康も大垣で戦いが行われると思っていたのではないでしようか。(次号へ続く)

けた市川少蔵(啓助)が「お庭番」の任務を行っていたことがわかりました。

【問い合わせ】「大垣ミニバス」の創立日を知りたい。

【回答】昭和45年(1970)頃の創立といわれているというのを手掛かりに財団法人大垣市体育連盟発行『体連五十年』【郷土78(2)】を調べたところ、正式名称が「大垣ミニバスケットボール少年団」であり、昭和43年(1968)4月設立であったことがわかりました。

に大垣城内で過ごした日々を回想し、語りのこした『おあむ物語』があります。戦後父にしたがいが土佐(高知県)にうつり、雨森儀右衛門にとつぎ、寛文年間(1661〜73)に80歳余で亡くなりました。一説に「おあん」は老尼の敬称「お庵(あん)」ともいわれています。